

# 第41回原子力総合シンポジウム プログラム

2003 National Symposium on Atomic Energy, Tokyo, Japan

主調テーマ：「新時代を切り拓く原子力の取り組み—信頼される科学技術として」

日 時 2003年5月21日（水）～ 22日（木） 9:45～17:00

会 場 千代田区立内幸町ホール （東京都千代田区内幸町1-5-1）

**開催趣旨** 原子力関連学協会の共同主催により、21世紀を迎えてますます重要になりつつある地球環境の維持・保全を考えたエネルギーの安定供給のあり方について、学界—産業界の各専門分野の研究者—技術者間の情報の交換・普及を図ると共に、単に専門家のみならず、一般の人々をも対象にして、エネルギー問題の現状と将来の展望を考え、人類と地球環境が直面している問題点を明らかにし、共通の理解を深めるため、本シンポジウムを開催する。

5月21日（水）

開会の辞（9:45）

挨 拶

運営委員長 柳沢 務

日本原子力学会会長 成合英樹

招待講演 1（10:00～10:45）

「新時代に求められる原子力科学技術の展望」

司会：宮本俊樹氏（（株）東芝）

藤家洋一氏（原子力委員会委員長）

1. 「信頼される技術としての原子力」（10:45～11:30）

特別講演 1 「技術，社会，安全」

司会：齋藤伸三氏（日本原子力研究所）

村上陽一郎氏（国際基督教大学）

(1) 科学技術の倫理問題（11:30～12:30）

司会：北村正晴氏（東北大学）

1) 倫理にかかわる企業統治

島村昌孝氏（経営倫理実戦研究センター）

2) 信頼される技術であり続けるために—技術倫理の視点から—

安藤恭子氏（金沢工業大学）

— 昼 休（12:30～13:30） —

(2) 設備健全（保全）を支える維持基準（13:30～14:30）

司会：出沢正人氏（日本原子力発電（株））

1) 原子力発電所の健全性と維持規格

小林英男氏（東京工業大学）

2) 航空分野における維持基準

遠藤 怜氏（日本航空（株））

2. 「循環型社会における燃料サイクル技術」（14:45～16:45）

司会：松本史朗氏（埼玉大学）

(1) 燃料サイクルシステムのめざす所

野村茂雄氏（核燃料サイクル開発機構）

(2) 核変換技術の未来

高野秀機氏（日本原子力研究所）

(3) 運転準備の進む六ヶ所再処理施設

鈴木一弘氏（日本原燃（株））

(4) 高レベル放射性廃棄物の処分事業の現状

北山一美氏（原子力発電環境整備機構）

5月22日(木)

招待講演2 (9:45～10:30)

「原子力安全委員会の変遷－事故事象, トラブルへの対応を通じ」

司会：新田隆司氏(関西電力(株))

松浦祥次郎氏(原子力安全委員会委員長)

3. 「21世紀のエネルギー需給と原子力」(10:30～11:15)

司会：内山洋司氏(筑波大学)

特別講演2 「次世代のエネルギーシステム」

伊藤浩吉氏((財)日本エネルギー経済研究所)

(1) 環境問題と水素エネルギー(11:15～12:15)

1) 水素・燃料電池社会を目指して

中村徳彦氏(トヨタ自動車(株))

2) 原子力による水素エネルギー－現状と期待－

堀 雅夫氏(原子力システム研究懇話会)

－ 昼 休 (12:15～13:15) －

(2) エネルギー外部性評価と原子力の役割(13:15～14:15)

司会：池本一郎氏((財)電力中央研究所)

1) エネルギー外部性研究のスコープと概念枠組み

伊東慶四郎氏((財)政策科学研究所)

2) 次世代エネルギーシステムの環境負荷低減効果

時松宏治氏((財)地球環境産業技術研究機構)

4. 「次世代を切り拓くエンジニアの育成」(14:30～16:45)

司会：工藤和彦氏(九州大学)

特別講演3 「なぜいまプロが必要なのか」

大橋秀雄氏(工学院大学)

(1) 最近のJABEEの活動状況

相沢乙彦氏(武蔵工業大学)

(2) 技術士原子力部門の設置

班目春樹氏(東京大学)

(3) 原子力分野における技術者継続教育

宮沢龍雄氏(日本原子力学会CPD WG主査)

(4) パネルディスカッション

司会：鳥井弘之氏(東京工業大学)

○参加費および参加登録 (参加費には予稿集1冊を含みます)

共催学協会会員 5,000円

一 般 6,000円

学 生 無 料(予稿集は実費頒布)

※当日、会場で申し受けます。事前登録は必要ありません。

○予稿集(A4判オフセット印刷, 4月中旬発行)

予稿集のみ購入ご希望の方は1冊 2,000円(税込), 送料400円で実費頒布いたします。

○問合せ先 「原子力総合シンポジウム運営委員会」事務局

〒105-0004 東京都港区新橋2-3-7 新橋第二ビル3F

(社)日本原子力学会内

TEL 03-3508-1261, FAX 03-3581-6128

E-mail: atom@aesj.or.jp http://www.soc.nii.ac.jp/aesj/

## 後 援 機 関

(予定を含む)

原 子 力 委 員 会  
原 子 力 安 全 委 員 会  
日 本 学 術 会 議

日 本 原 子 力 研 究 所  
核 燃 料 サ イ ク ル 開 発 機 構  
(社)日 本 原 子 力 産 業 会 議

(財)日本原子力文化振興財団

## 共 同 主 催

(40学協会 50音順)

エ ネ ル ギ ー ・ 資 源 学 会  
(社)応 用 物 理 学 会  
(社)化 学 工 学 会  
(社)火力原子力発電技術協会  
(社)空気調和・衛生工学会  
(社)計測自動制御学会  
(財)原子力安全研究協会  
(社)資 源 ・ 素 材 学 会  
(社)電 気 化 学 会  
(社)電 気 学 会  
(社)土 木 学 会  
(社)日本アイソトープ協会  
(社)日本医学放射線学会  
(社)日 本 化 学 会

日 本 核 医 学 会  
(社)日 本 機 械 学 会  
(社)日 本 空 気 清 浄 協 会  
(社)日 本 原 子 力 学 会  
(社)日 本 建 築 学 会  
(社)日 本 高 圧 力 技 術 協 会  
日 本 混 相 流 学 会  
日 本 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 学 会  
(社)日 本 セ ラ ミ ッ ク ス 協 会  
(社)日 本 造 船 学 会  
日 本 地 球 化 学 会  
日 本 地 質 学 会  
(社)日 本 電 気 協 会  
(社)日 本 非 破 壊 検 査 協 会

日 本 複 合 材 料 学 会  
(社)日 本 分 析 化 学 会  
日 本 放 射 化 学 会  
日 本 放 射 線 影 響 学 会  
(社)日 本 放 射 線 技 術 学 会  
日 本 保 健 物 理 学 会  
(社)日 本 溶 接 協 会  
(社)日 本 流 体 力 学 会  
(社)粉 体 粉 末 冶 金 協 会  
(社)プ ラ ズ マ ・ 核 融 合 学 会  
(社)溶 接 学 会  
(社)レ ー ザ ー 学 会

## 「第41回原子力総合シンポジウム」運営委員会

(学協会名50音順・敬称略。○は委員長)

(エネルギー・資源) ———  
(応 物) ———  
(化学工学)鈴木篤之  
(火 原 協)五明利栄  
(空調・衛生) ———  
(計測自動制御)川嶋健嗣  
(原 安 協)石川秀高  
(資源・素材)須藤茂韶  
(電気化学)岸尾光二  
(電 気)中沢正治  
(土 木) ———  
(R I 協)北原明治  
(医学放射線)早渕尚文  
(化 学) ———  
(核 医 学)本田憲業

(機 械)文沢元雄  
(空気清浄協) ———  
(原 子 力)鈴木光雄  
(原 子 力)福田研二  
(原 子 力)松本史朗  
○(原 子 力)柳沢 務  
(建 築)渡部征男  
(高 圧 力 協)朝田泰英  
(混 相 流) ———  
(シミュレーション)矢川元基  
(セラミックス協) ———  
(造 船)野本敏治  
(地 球 化 学)海老原 充  
(地 質)天野一男  
(電 気 協)浅井 功

(非 破 壊 協)大岡紀一  
(複 合 材 料) ———  
(分 析 化 学)葉袋佳孝  
(放 射 化 学)吉田善行  
(放射線影響)高橋千太郎  
(放射線技術)小野口昌久  
(保 健 物 理)吉川 進  
(溶 接 協)矢川元基  
(流 体 力) ———  
(粉体粉末協) ———  
(プ ラ ズ マ)岡野邦彦  
(溶 接)西本和俊  
(レ ー ザ ー)今崎一夫